

### 鵜川漁協厚真支所北寄部会から寄贈のホッキ貝 こども園と小中学校の給食に



鵜川漁業協同組合厚真支所北寄部会(西館純之会長)からホッキ貝60kgが学校給食センターに寄贈されました。

「今年のホッキ貝は身が厚くて食べ応えがある」と漁業関係者が評価するホッキ貝は、7月17日に町内のこども園と小中学校の給食でホッキカレーとして提供されました。子どもたちは口いっぱいほおぼり、厚真の海の幸を味わいました。

### 用水路をのぞいてみよう！田んぼの生きもの観察会

町土地改良区(山田英雄理事長)主催の「田んぼの生きもの観察会」が、7月3日と12日に軽舞用水路で行われ、厚真中央小学校の4年生20人と上厚真小学校の3年生21人が参加しました。

この観察会は、室蘭開発建設部や胆振総合振興局の協力を得て、農作物を育てる上で大切な水への理解を深めてもらうことを目的とした授業で、今年で17回目の開催。土地改良区の職員から「用水路にどのような生き物がいるか」などの説明を受けた生徒たちは、タモ網でドジョウやウグイを捕まえて観察していました。



梅原さんからアドバイスを  
受ける参加者

### 草花の特徴を学ぼう ガーデニング講習会

7月4日、町コミュニティ推進協議会(山下昌秀会長)主催のガーデニング講習会が表町公園ステージで行われ、町民26人が参加しました。講師に町内梅原商店の梅原智哉さん(39歳)を迎えて、講習会で使用した植物の特徴や、植物を枯らさないためのポイントなどについての講話と寄せ植えの実習を行いました。

梅原さんは参加者に「寄せ植えで植物を枯らさないためには、光や水、温度など必要とする条件が同じ植物を選ぶことが大切です」とアドバイスしていました。

参加者は梅原に個別にアドバイスを受けて、参加者同士で相談しながらハーブなどの植物をきれいに植えていました。

### 豊かな自然の再生を目指して 第1回厚真町森林再生・林業復興検討会議

胆振東部地震で甚大な被害を受けた森林の再生と林業の復興に向けて専門的な立場から指導や助言を得ることを目的とした「厚真町森林再生・林業復興検討会議」の初会合が7月19日に総合福祉センターで行われました。専門家や関係機関職員など約20人が出席し、北大農学研究院の中村太士教授、酪農学園大農食環境学群の金子正美教授、道立総合研究機構の長坂晶子主幹を含む学識経験者および関係機関職員6人に宮坂町長から委員委嘱状が交付されました。

宮坂町長は「さまざまな知見を重ねている皆さまから積極的な提言をいただき、早期に森林再生、林業の復興への取り組みを進めていきたいです」とあいさつしました。



### 丸山晴凧くんが全日本サーフィン選手権大会へ

8月18日から高知県東洋町で開催される第54回全日本サーフィン選手権大会キッズクラスに北海道代表として出場する丸山晴凧くん(厚真中1年・あつまビーチクラブ所属)が7月1日、指導者で父の聡史さん(46歳)とともに役場を訪れ、宮坂町長に大会出場の報告を行いました。

これまで国内外での試合や練習に参加し、大人と同クラスで優勝した経験もある丸山くん。6月上旬に浜厚真海岸で行われた支部予選で1位となり、初の全国大会への切符を手に入れました。

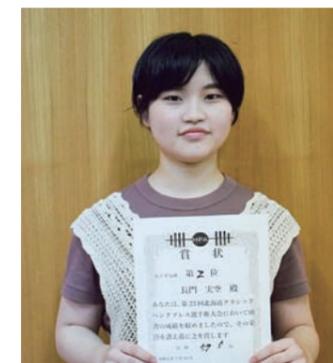
丸山くんは「まずは決勝に進むことが目標。将来はプロを目指したいです」と意気込みを語りました。



### ベンチプレス大会で長門実空さんが北海道記録を更新

鹿沼地区出身で札幌市内の高校に通う長門実空さん(17歳)が7月14日に江別市民体育館で開催された「第29回北海道ベンチプレス選手権大会」兼「第23回北海道クラシック・ベンチプレス選手権大会」に出場し、57.5kgを持ち上げる好成績で2位に入賞しました。この記録は、47キロ級・サブジュニアカテゴリーの北海道記録を更新するもので、11月に兵庫県明石市で開催される「第20回ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会」への出場を決めました。

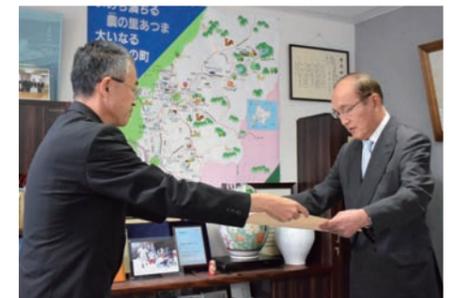
長門さんは「今回の記録はあと2.5kgで日本記録でした。記録更新を確実なものにするため、練習を重ねていきます」と話していました。



### 元厚真副支署長の堀正幸さんが瑞宝単光章を受章

元胆振東部消防組合厚真支署副支署長の堀正幸さん(上厚真・70歳)が瑞宝単光章を受章し、7月1日に町長室で胆振総合振興局須田一副局長から勲記と勲章の伝達を受けました。

堀さんは昭和47年から胆振東部消防組合に消防士として、平成8年に消防司令、平成19年には厚真支署副支署長として平成21年に退職するまで37年余の長きにわたり奉職。防火の徹底や技術の修練に努力を続け、火災予防活動や啓もう活動に大きく貢献しました。堀さんは「大変光栄なことです」と受章の喜びを話していました。



須田局長から勲記を受け取る堀さん(右)

### 鈴木知事に 厚真産ハスカップをPR



左から原副会長、宮坂町長、鈴木知事、  
山口会長

宮坂町長と厚真産ハスカップブランド化推進協議会(山口善紀会長)は7月5日、厚真産ハスカップを道内へ発信するイベント「厚真産ハスカップフェア2019」の開催にあたり、鈴木直道知事を表敬訪問し、厚真産ハスカップの魅力を伝えました。

山口会長は「畑が地震で大きな被害を受けましたが、今後計画的に苗を改植し、震災前以上に産地として盛り上げていきたいです」と意気込みを話していました。

その場で生の厚真産ハスカップを口にした鈴木知事は「食べやすく、本当においしい。私も皆さんと一緒にしっかりとPRしていきたいです」と激励しました。

## 令和元年度 花いっぱいコンクール 結果発表

7月25日に、令和元年度花いっぱいコンクールを開催しました。花と緑による地域の環境美化に取り組んでいる場所を募集し、個人の部20件、団体の部6件の応募をいただきました。町内フラワーマスターと協議会役員によって審査が行われ、次のような結果になりました。

### 個人の部



1位

宇隆 尾谷 道子さん



2位

新町 佐藤 好正さん



3位

豊丘 木澤 裕司さん

### 団体の部



1位

新町自治会  
(中央小学校坂下)



2位

鹿沼婦人会  
(鹿沼マナビィハウス前)



3位

東和自治会  
(東和生活館)

運営・企画・問い合わせ コミュニティ運動推進協議会事務局 (まちづくり推進課企画調整グループ内) ☎27-3179

## 法務局メモ

### 土地や建物の 相続登記はお済みですか？

〔法務局〕  
札幌法務局 ☎011-709-2311  
苫小牧支局 ☎0144-34-7403  
<http://houmukyoku.moj.go.jp/sapporo>



〔札幌司法書士会〕  
法律相談センター ☎011-272-9035  
苫小牧地区相談センター ☎0144-33-8885  
<http://www.sihosyosi.or.jp/>



〔札幌土地家屋調査士会〕  
☎011-271-4593  
<http://www.saccho.com/>



法務局で取り扱っている「不動産登記」は、大切な財産である土地や建物の状況（所在、面積など）、所有者や債権者の住所氏名などを登記簿に記録し、一般に公開することにより取引の安全を図ることを目的としていますが、土地や建物の所有者が死亡したときや建物を増築したときなど、登記を申請しなければ法務局にある登記簿の内容は変更されません。

特に不動産の所有者が亡くなり、「相続登記」をしないで放置しておくと、さらに相続人のうち誰かが亡くなって新たな相続が発生するなど権利関係が複雑になり、相続人間のトラブルが発生したり、所有者不明の土地問題や空き家問題の原因になるとも言われています。

なお、登記手続きをご自身で行うこともできますが、所有者などから依頼されて登記の申請を代理して行う専門家として、「司法書士」、「土地家屋調査士」がいます。司法書士は所有権の移転や抵当権の抹消などに関する登記の申請代理を、土地家屋調査士は建物の新築や土地の分筆などに関する登記の申請代理を行います。

法務局または司法書士会・土地家屋調査士会へお気軽にお問合せください。

## 社会を明るくする運動 メッセージ伝達式



7月2日、「第59回社会を明るくする運動」の一環として苫小牧地区保護司会(菅原正良会長)が役場を訪れ、メッセージ伝達式を行いました。

同運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

伝達式では菅原会長が内閣総理大臣のメッセージを読み上げ、大坪地方創生総合戦略理事に手渡しました。メッセージでは、安全で安心な社会をつくるために、犯罪や非行の防止と立ち直りを支える地域の協力の大切さが述べられていました。

町起業型地域おこし協力隊の田中克幸さん(28歳)とデザイン制作会社のクリエイターズマッチ(東京都)が7月6日、本郷マナビィハウスで「厚真町Rethinkセミナー」を開催し、町内外の小学生から年配の方までの18人が参加しました。

これは、デザインプランナーとして活動する田中さんが、デザインの制作経験がない方でも地域の魅力を楽しく発信できることを伝えようと企画。参加者はデザインの基本的な考えを学んだ後、4つのグループに分かれ、題材写真にキャッチコピーをつけてポスターを完成させる過程を体験しました。

慣れない作業に頭を悩ませながらも、参加者たちは活発に意見を交わし「キャッチコピーを皆で考えるのが楽しかった」「自分にも新しい発想ができるんだなと思った」と話していました。

## 厚真の魅力デザインしよう！ 楽しくポスター制作体験



皆で考えた寸劇を行う生徒たち

## 普段の学習の成果を イングリッシュキャンプで英語に親しむ

厚真中学校(阿部隆之校長)と厚南中学校(富田律子校長)の2年生を対象とした「イングリッシュ・デイ・キャンプ」が7月22日に総合福祉センターで行われました。

A L T(外国語指導助手)に英語で厚真を紹介する「A P R(厚真 P R)」や、用意されたテーマを基に作成する寸劇の発表を通じ、英語漬けの1日を過ごしました。

生徒たちは、これまでの授業で学んだ英会話に身振り手振りを加えながら、プレゼンテーションと英語を楽しく学びました。

## (株)フジトランスコーポレーション の新入社員が町内清掃

株式会社フジトランスコーポレーション(名古屋市)が新入職員研修として7月17日に町内の清掃活動を行いました。

この研修は、グループ関連会社の有限会社厚真ファームが町内に所在することから行われているものです。

今年4月に採用された新入職員28人は4班に分かれ、厚真市街地や本郷地区の道路沿いでごみを拾いながら、仕事に関わる地域への理解を深めていました。

